

【仮訳】

\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

中央銀行プレスリリース

2021年11月15日

対外セクター概況 - 2021年9月

概要

2021年9月、商品貿易赤字は前年同月の5.25億米ドルから4.95億米ドルに縮小。輸入支出は前年同月とほぼ同水準だったが、輸出収益は4か月連続で10億米ドルを超えた。観光客数は前月比で顕著に増加、成長の勢いが続いた。国外労働者からの送金は緩やか。国際収支は、中国開発銀行（CDB）からのシンジケートローンの収益と、スリランカ中央銀行とバングラデシュ銀行との間の二国間通貨スワップ協定の残額を受け取り強化された。一方、インターバンク市場の平均スポット為替レートは、中央銀行が重要輸入品の未出荷を解消、為替レートを誘導したことにより、当月は上昇、安定した。

表1：対外セクター 実績 サマリー

カテゴリー	2020年 9月 100万米ドル	2021年 9月 100万米ドル	推移 (%)	2020年 1~9月 100万米ドル	2021年 1~9月 100万米ドル	推移 (%)
商品輸出	1,000	1,031	3.1	7,445	8,934	20.0
商品輸入	1,525	1,526	0.1	11,782	14,938	26.8
貿易収支	-525	-495		-4,337	-6,003	
観光収入	-	18	-	682	51	-92.5
国外労働者からの送金	703	353	-49.7	5,049	4,577	-9.3
CSEへの純流入	-42	-34		-215	-215	
政府への総流入	130	311		1,563	1,315	
国債	10	1		102	16	
長期ローン	120	n.a.		961	489	
シンジケートローン	-	310		500	810	
外国直接投資（総額）				351	398	
合計				-1,104	-2,573	

出典：スリランカ税関当局 (SLC)、スリランカ観光開発委員会 (SLTDA)、コロンボ証券取引所(CSE)、  
スリランカ投資委員会(BOI)、スリランカ中央銀行(CBSL)

【仮訳】

\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

貿易収支と貿易指標

**貿易収支：**貿易赤字は、前年同月の 5.25 億米ドル、前月の 5.86 億米ドルに対し、4.95 億米ドルに縮小。一方、2021 年 1～9 月累計の貿易赤字は前年同期の 43.37 億米ドルから 60.03 億米ドルに拡大。主な要因は図 1 のとおり。

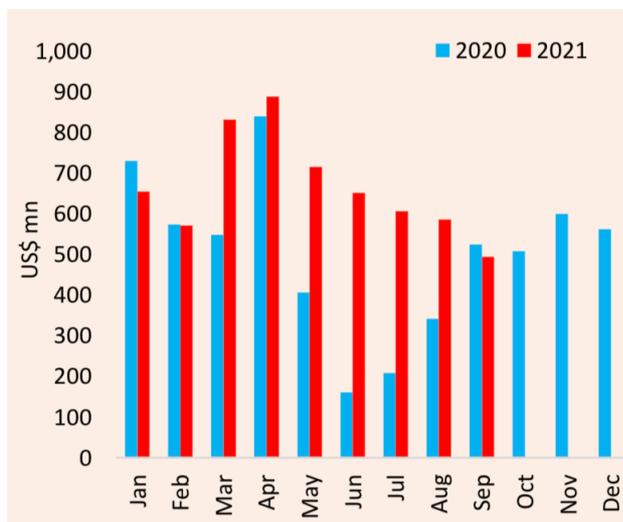
**貿易指標：**貿易指標（輸出価格と輸入価格の比率）は、輸入価格の上昇が輸出価格の上昇を上回り、前年同月比で 15.6%悪化。

図 1：2021 年 1～9 月期 前年同期比 貿易赤字拡大主要因（百万米ドル）



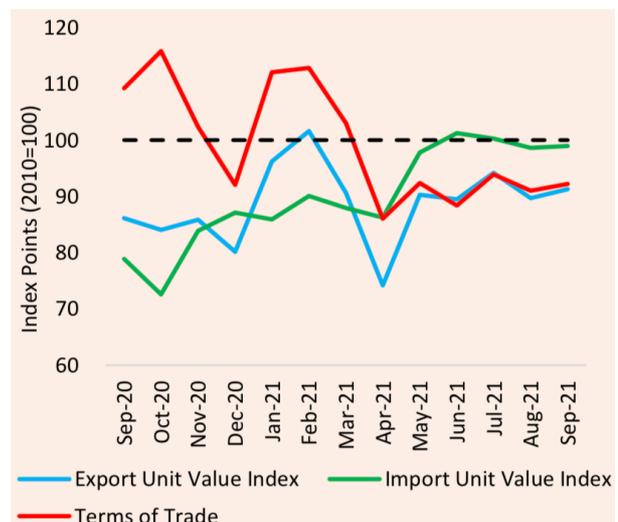
出典：SLC、CBSL

図 2：月別貿易赤字（2020～21 年）



出典：SLC、CBSL

図 3：貿易指標（2020～21 年）



出典：CBSL

## 【仮訳】

\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

### 商品輸出

**輸出全般：**2021年9月の輸出収益は前年同月比3.1%増の10.31億米ドル。農業品輸出が減少したが、工業製品と鉱物資源輸出に増加が見られた。2021年1～9月累計輸出収益は、前年同期の74.45億米ドルに対し、20.0%増の89.34億米ドル。しかし2021年9月も、輸出によって出て行く商品と入ってくる資金の金額に差異が生じている。

**工業製品輸出：**工業製品輸出収益は前年同月比4.0%増。繊維衣料品、石油製品、ゴム製品など主要輸出品目が大幅に増加した一方で、プラスチック関連品（主にプラスチック製衣料品）、印刷業製品、宝石・ダイヤモンド・宝飾品、食品・飲料・タバコ、皮革・旅行品・履物、セラミック製品などの少数品目で収益が減少。繊維衣料品の輸出は英国を除くすべての主要市場で増加。石油製品輸出は、主に価格上昇を反映したバンカー燃料の輸出増加により収益が増加。ゴム製品では、タイヤと手袋が輸出額増加を牽引。

**農業品輸出：**農産品輸出収益は前年同月比0.6%減。主に紅茶、非加工タバコ、スパイス、野菜の輸出収益が減少。紅茶は、輸出価格下落（5.8%減）と輸出量減（3.0%減）により前年同月比8.7%減少。シナモン、ナツメグ、メースなどスパイスは、コショウとクローブは増加したが輸出数量が減少、輸出収益も減少。一方、水産物（主にエビ、マグロ）、ゴム（主にクレープゴム）、小規模農産品（主に食用ナッツ）の輸出収益は増加。

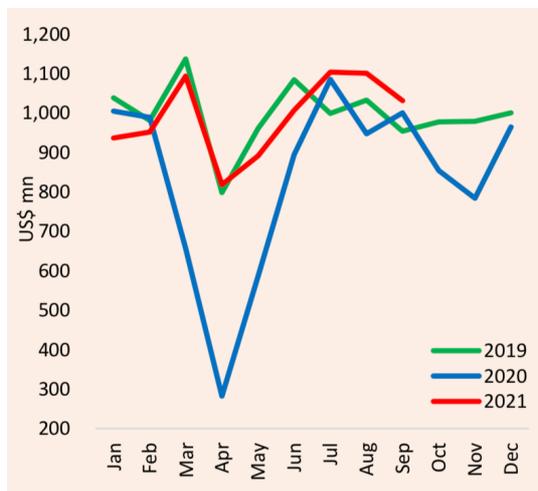
**鉱物資源輸出：**鉱物資源は土類、土石、鉱滓、灰分、貴金属の全サブカテゴリーで輸出収益が高く、前年同月に比べて増加。

**輸出指標：**前年同月比で輸出量指数は2.7%減、単価指数は6.0%増。前年同月比での輸出額増は輸出価格上昇によることがわかる。

【仮訳】

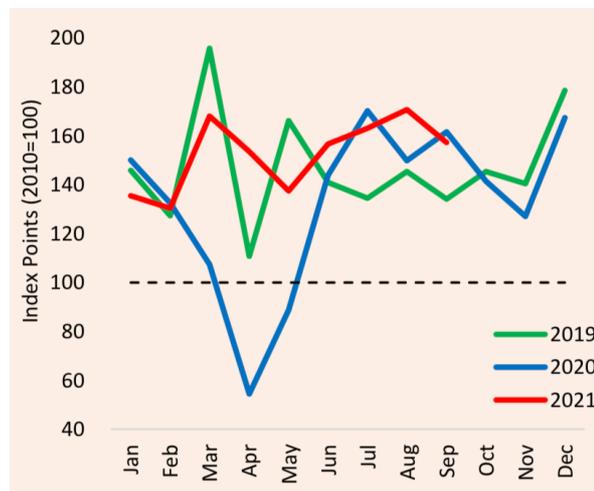
\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

図 4：月別輸出実績



出典：SLC、CBSL

図 5：月別輸出量指標



出典：CBSL

【仮訳】

\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

表 2：商品輸出収益

カテゴリー	2020年 9月 100万米ドル	2021年 9月 100万米ドル	推移 (%)	2020年 1～9月 100万米ドル	2021年 1～9月 100万米ドル	推移 (%)
<b>1. 工業製品輸出</b>	<b>774.6</b>	<b>805.7</b>	<b>4.0</b>	<b>5,680.0</b>	<b>6,899.0</b>	<b>21.5</b>
食品・飲料・タバコ	45.6	43.7	-4.3	348.6	397.7	14.1
動物飼料	8.3	8.4	1.2	83.9	85.9	2.4
繊維衣料品	433.7	458.5	5.7	3,286.8	3,893.3	18.5
衣料品	391.6	421.7	7.7	2,919.7	3,544.3	21.4
生地	26.6	27.3	2.5	181.6	254.8	40.3
その他繊維衣料品	15.5	9.4	-39.0	185.5	94.2	-49.2
ゴム製品	78.0	90.9	16.6	566.9	772.6	36.3
宝石・ダイヤモンド・宝飾品	20.3	17.4	-14.3	122.9	195.4	59.0
機械・機械器具	35.8	37.4	4.5	245.3	366.5	49.4
輸送用機器	8.2	8.5	3.4	54.4	83.3	53.0
石油製品	28.6	53.7	87.6	296.8	348.6	17.5
化学製品	16.0	19.2	20.3	123.7	162.9	31.7
木材・紙製品	9.8	10.2	4.4	74.4	92.8	24.6
印刷業製品	10.4	4.6	-55.4	36.3	40.1	10.6
皮革・旅行品・履物	5.9	5.5	-5.7	44.0	39.3	-10.7
プラスチック関連品	34.1	6.5	-80.9	106.7	57.2	-46.4
ベースメタル関連品	8.6	11.2	30.2	84.6	111.3	31.6
セラミック製品	3.2	3.1	-4.8	16.6	27.8	68.1
その他工業製品輸出	28.1	26.8	4.5	188.3	224.3	19.1
<b>2. 農産品輸出</b>	<b>222.5</b>	<b>221.2</b>	<b>-0.6</b>	<b>1,738.5</b>	<b>1,986.7</b>	<b>14.3</b>
紅茶	114.0	104.1	-8.7	919.6	986.6	7.3
ゴム製品	2.1	5.2	151.3	19.9	32.5	62.9
ココナッツ	35.8	35.8	0.1	257.3	312.7	21.5
スパイス	38.6	37.3	-3.4	233.1	319.6	37.1
野菜	2.3	1.0	-20.2	28.5	20.3	-28.9
非加工タバコ	2.7	1.1	-59.6	19.7	22.5	14.7
小規模農産品	10.8	13.3	23.1	111.1	104.4	-6.0
海産物	16.2	22.6	39.2	149.4	188.1	25.9
<b>3. 鉱物資源輸出</b>	<b>1.7</b>	<b>3.1</b>	<b>83.9</b>	<b>15.9</b>	<b>33.8</b>	<b>112.0</b>
<b>4. 非分類品輸出</b>	<b>1.3</b>	<b>1.4</b>	<b>2.6</b>	<b>10.7</b>	<b>14.9</b>	<b>40.2</b>
<b>輸出合計</b>	<b>1,000.0</b>	<b>1,031.4</b>	<b>3.1</b>	<b>7,445.0</b>	<b>8,934.3</b>	<b>20.0</b>

出典：SLC、国立宝石宝飾品委員会 (NGJA)、国営セイロン石油公社 (CPC) 及び 他石油輸出者、CBSL

## 【仮訳】

\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

### 商品輸入

**輸入全般：**2021年9月の商品輸入支出は、前年同月とほぼ同水準の15.26億米ドル。消費財は増加、中間財と投資財が減少。2021年1～9月累計輸入収益は、前年同期の117.82億米ドルから149.38億米ドルに増加。

**消費財：**非食品消費財の増加が牽引、前年同月比16.6%増加。食品・飲料は、主に砂糖の輸入減により前年同月比で12.4%減少。海産物（主に乾燥小魚、鮮魚）、スパイス（唐辛子）、果物、飲料で減少が見られ、乳製品（主に粉ミルク）、野菜（主にレンズ豆、ジャガイモ）、油脂類が増加。一方、非食品消費財は前年同月比42.2%増加。主に医療・医薬品に分類されるワクチンの輸入による。また、通信機器、衣料アクセサリ、ゴム製品（主にタイヤ）、家庭用品・家具（主に繊維製品）なども増加。

**中間財：**繊維および繊維製品の輸入が大幅に増加したが、燃料、小麦（主に小麦粉）、鉱物製品（主にセメント原材料）が減少し、前年同月比で4.0%減少。燃料輸入は、原油が輸入されず、十分な在庫を持つ石油精製品の輸入量が少なく減少。しかし、輸入量は少ないものの平均輸入価格が前年同月比で64.6%上昇し、石油精製品（LPガスを含む）の輸入支出は増加。また、石炭の輸入も輸入量および価格の上昇に伴い大幅に増加。

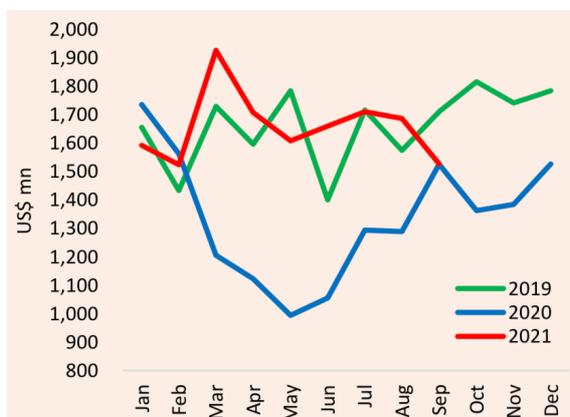
**投資財：**前年同月比で2.1%減少。機械設備では、部品やクレーンが減少し、大きく減少。一方、建設資材は、鉱物製品（主にアスベスト）、セラミック製品、絶縁電線・ケーブル、鉄・鋼鉄により増加したが、セメントの輸入量が減少。輸送機器は主に鉄道関連機器の輸入により増加。

**輸入指標：**前年同月比で輸入量指数は20.3%減、単価指数は25.5%増。

【仮訳】

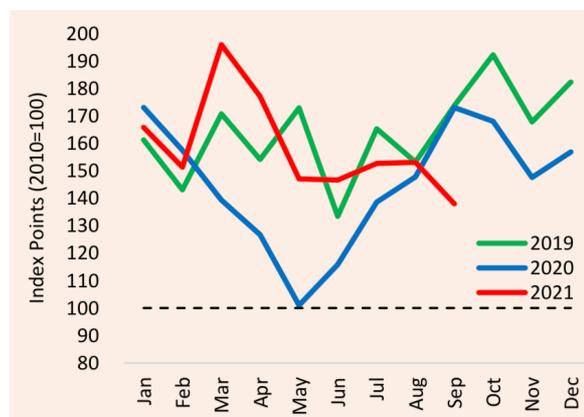
\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

図 6：月別輸入実績



典：SLC、CBSL

図 7：月別輸入量指標



出典：CBSL

## 【仮訳】

\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

表3：商品輸入支出

カテゴリー	2020年 9月 100万米ドル	2021年 9月 100万米ドル	推移 (%)	2020年 1~9月 100万米ドル	2021年 1~9月 100万米ドル	推移 (%)
<b>1. 消費財</b>	<b>266.5</b>	<b>310.7</b>	<b>16.6</b>	<b>2,566.9</b>	<b>2,890.0</b>	<b>12.6</b>
食品・飲料	125.2	109.8	-12.4	1,148.9	1,261.7	9.8
穀類・精米製品	3.1	3.0	-2.6	24.1	27.4	13.7
乳製品	24.1	39.4	63.8	253.0	270.6	7.0
野菜	16.2	23.9	47.9	262.5	302.6	15.3
海産物	14.0	9.5	-32.0	153.5	92.0	-40.0
砂糖・菓子類	38.0	3.4	-91.0	200.6	214.7	7.0
スパイス	10.2	7.9	-22.4	94.3	98.4	4.4
その他食品・飲料	19.7	22.5	14.5	160.9	255.8	59.0
非食品消費財	141.3	201.0	42.2	1,418.0	1,628.3	14.8
個人用車両	0.6	2.1	240.4	281.4	9.9	-96.5
医療・医薬品	56.4	108.7	92.6	441.7	640.7	45.0
家電製品	17.0	15.0	-11.9	117.4	194.8	65.9
衣類アクセサリ	15.4	18.1	17.4	153.1	156.8	2.4
通信機器	21.0	24.1	14.8	195.6	307.2	57.1
家庭用品・家具	12.9	14.5	12.8	104.4	118.1	13.1
その他非食品消費財	17.9	18.4	2.9	124.3	200.8	61.5
<b>2. 中間財</b>	<b>883.3</b>	<b>848.4</b>	<b>-4.0</b>	<b>6,575.8</b>	<b>8,790.8</b>	<b>33.7</b>
燃料	214.0	201.0	-6.1	1,905.2	2,596.8	36.3
うち 原油	63.6	0.0	-	451.2	516.4	14.5
精製石油	134.9	163.0	20.9	1,309.3	1,911.3	46.0
石炭	15.5	37.9	144.5	144.7	169.1	16.9
ダイヤモンド、貴石、貴金属	9.8	12.4	26.5	67.2	94.1	40.0
繊維及び繊維製品	208.3	262.2	25.8	1,665.5	2,205.9	32.4
紙及び板紙、関連製品	37.7	36.1	-4.2	277.1	355.5	28.3
農業資材	15.1	17.5	16.4	147.6	204.8	38.7
小麦・トウモロコシ	60.7	25.5	-58.0	290.0	291.4	0.5
ベースメタル	75.4	66.9	-11.2	321.9	566.1	75.8
プラスチック及び関連品	64.6	52.2	-19.2	388.5	570.8	46.9
化学製品	79.8	78.6	-1.4	598.1	811.2	35.6
肥料	14.7	0.4	-97.1	139.0	104.4	-24.9
ゴム及び関連製品	19.5	24.8	27.2	165.4	290.6	75.8
鉱物製品	24.5	8.7	64.4	132.1	114.8	-13.1
その他中間財	59.4	62.1	4.6	478.1	584.5	22.3
<b>3. 投資財</b>	<b>374.2</b>	<b>366.5</b>	<b>-2.1</b>	<b>2,627.4</b>	<b>3,248.8</b>	<b>23.6</b>
機械設備	257.1	226.8	-11.8	1,581.7	2,049.4	29.6
建設資材	93.4	96.5	3.4	764.7	900.5	17.7
輸送用機器	23.2	42.5	82.9	278.6	294.6	5.8
その他投資財	0.4	0.6	33.1	2.4	4.3	80.4
<b>4. 非分類品輸入</b>	<b>0.8</b>	<b>0.4</b>	<b>-50.5</b>	<b>12.2</b>	<b>8.0</b>	<b>-34.9</b>
輸入合計	1,524.9	1,526.0	0.1	11,782.2	14,937.5	26.8
うち 非燃料輸入	1,310.9	1,325.1	1.1	9,877.1	12,340.7	24.9

出典：SLC、CPC、Lanka IOC PLC、CBSL

【仮訳】

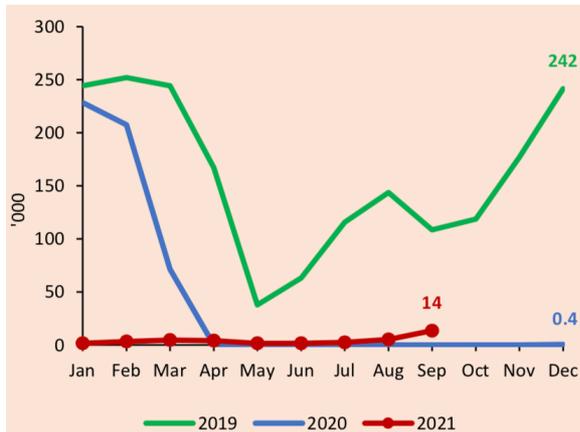
\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

その他の主な経常収支への流入

2021年9月の出稼ぎ労働者による国外からの送金は前年同月比で減少。2021年9月の送金額は、前年同月の7.03億米ドルに対し3.53億米ドル。2021年1～9月累計の送金額は、前年同期比9.3%減の45.77億米ドル。2021年9月の国外就労を目的とした出国者数は前月比38.6%増の12,274人を記録。主にスキルワーカー（4,503人）、非スキルワーカー（3,216人）、メイド（2,486人）が増加。これは、外国からの送金拡大への的を絞った対策により、今後、出稼ぎ労働者からの送金が増加に戻る可能性があることを示す。

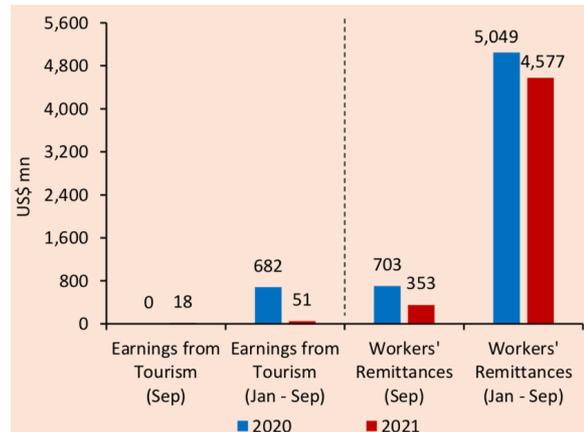
2021年9月の観光客数は、引き続き低い水準もこの数か月の増加への流れを維持。観光客到着数は前月の5,040人に対し13,547人。2021年1～9月累計の観光客数は37,924人、前年同期は507,311人だった。訪問観光客の主な出発国は、インド、パキスタン、ドイツ、イギリス、ロシア。2021年9月の推計観光収益は1,800万米ドル。2021年1～9月累計での観光収入は、前年同期の6.82億米ドルに対し、5,100万米ドルと推定。

図8：月別観光客到着数



出典：SLTDA

図9：観光・送金収入



出典：SLTDA、認可銀行、CBSL

## 【仮訳】

\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

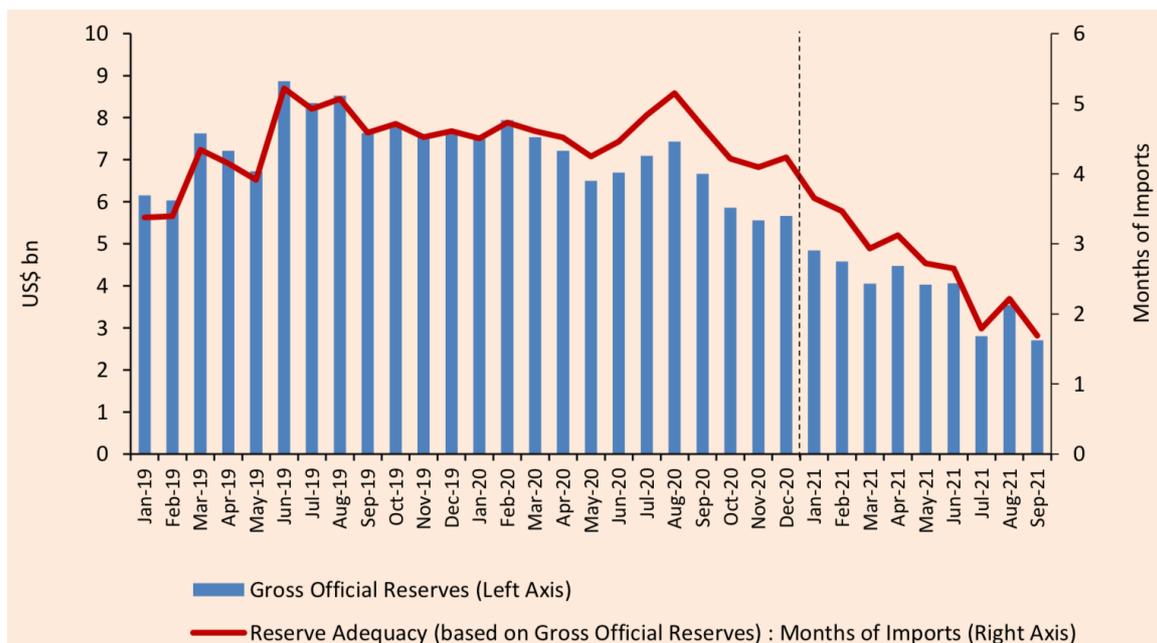
## 資金フロー

2021年9月の政府証券市場では、外国投資のわずかな流出を記録。2021年1～9月累計での政府証券市場からの累積純流出額は2,700万米ドルで、2021年9月末時点でのエクスポージャー総額は900万米ドルと低水準のままに。一方、2021年9月のコロナボ証券取引所（CSE）からの純流出額は3,400万米ドル、2021年1～9月累計では2.15億米ドルの純流出を記録。2021年9月の政府への長期貸付による総流入額には、CDBからのシンジケートローンファシリティ約3.1億米ドル相当の受領が含まれる。

## 公的準備高

2021年9月末の総公的準備金は、27億米ドル。なお、上記の準備高には、中国人民銀行と中央銀行の間で締結された100億元（約15億米ドル）の3年間の二国間通貨スワップ枠は含まれていない。一方、スリランカ中央銀行とバングラデシュ銀行の間で締結された二国間通貨スワップ協定の残額が受領された。総公的準備高と銀行セクター資産を合わせた総外国資産は、2021年9月末時点で61億米ドル。

図 10：総公的準備高と準備高の充足状況



出典：CBSL

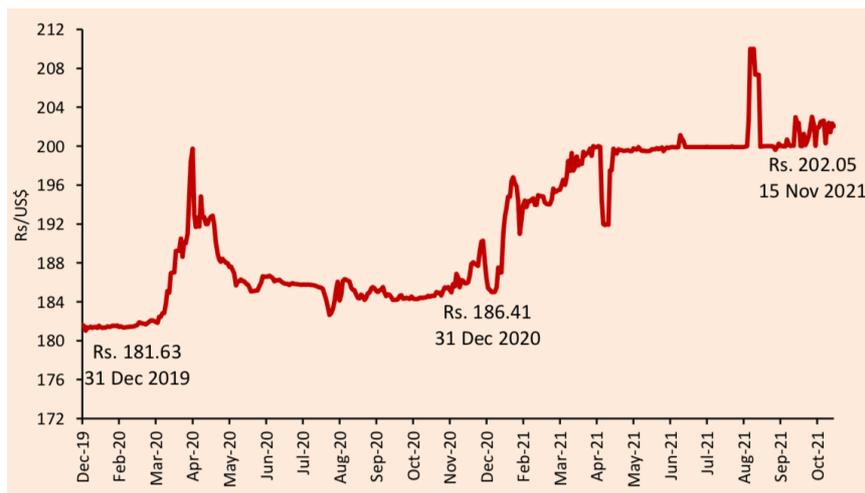
【仮訳】

\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

為替レートの動き

インターバンク市場における加重平均スポット為替レートは9月初旬に上昇、その後はほぼ安定。これは主に、中央銀行が必須輸入品の滞留を解消するためにとった措置と為替レートへのガイダンスによる。その結果、9月のスリランカルピーの対米ドル為替レートは5.0%上昇。2021年11月15日までの1年間で、スリランカルピーは対米ドルで7.7%下落。クロス通貨の動きを反映し、2021年1月1日～11月15日までの間、スリランカルピーは、ユーロ、ポンド、豪ドル、インドルピーに対して下落、日本円に対しては上昇。

図 11：対米ドルでのスリランカルピーの動き



出典：CBSL

表 4：主要通貨に対するスリランカルピーの動き

通貨	2019年	2020年	2021年11月15日時点 ルピー安 (-)/ ルピー高 (+)
米ドル	+0.6%	-2.6%	-7.7%
ユーロ	+2.6%	-11.2%	-0.9%
英ポンド	-2.8%	-6.2%	-6.3%
日本円	-1.0%	-7.5%	+1.9%
豪ドル	+1.3%	-11.4%	-3.1%
インドルピー	+2.6%	0.0%	-6.3%

出典：CBSL